

ほとんど、ドアtoドア。便利な世の中になったもんだ。

- ・10時45分:約3時間博物館調査、過去へタイムトラベル。
- ・その後新横浜へ。ラーメン博物館を見学、ラーメン調査、約一時間。
日本の食文化のレベルの高さと昭和33年の風景に感動。
- ・17時00分:大月自宅着。

3. 神奈川県立歴史博物館 調査

1) 歴史博物館紹介

明治37年に横浜正金銀行本店として建てられ、現在国の重要文化財・史跡に指定されている歴史的建造物。

中の雰囲気は、明治時代のモダンさと重々しさがマッチングした落ち着いた雰囲気である。



歴史博物館 全景

2) 展示内容

「かながわの文化と歴史」をテーマとし、神奈川の先史から現代までの資料を展示している。

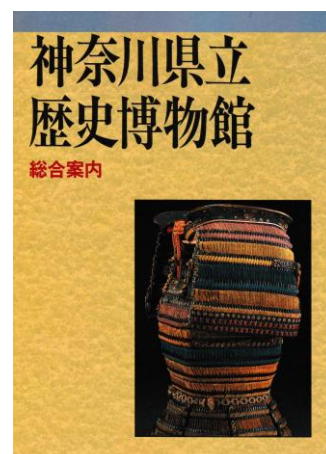
資料はそれぞれの時代毎のテーマを明確にして分類されている。

- ① さがみの古代に生きた人びと
- ② 都市鎌倉と中世びと
- ③ 近世の街道と庶民文化
- ④ 横浜開港と近代化
- ⑤ 現代の神奈川と伝統文化

3) わかった事

神奈川の歴史を考える上での大きなポイントは、“海”。

時代毎に、人々が海とどう共存していったかが、命題となる。



総合案内書 購入
今後の指南書となる

4. 旅の計画

【3】弥生時代	三浦半島	2月14日(土)
【4】奈良時代	海老名～大磯	3月 7日(土)
【5】鎌倉時代	鎌倉	4月 4日(土)
【6】室町時代	小田原	4月29日(水)
【7】江戸時代	箱根	5月25日(土)
【8】江戸時代	浦賀	6月14日(日)
【9】明治時代	横浜	7月26日(日)
【10】昭和時代	横須賀	8月10日(月)

【11】昭和時代 川崎	9月20日(日)
【12】平成時代～未来へ 横浜～川崎	10月11日(日)
【13】まとめ	12月20日(日)

【3】弥生時代 : 三浦半島

・三浦半島には海蝕洞窟遺跡が30カ所ある、有名なのが毘沙門洞窟。
 水稻農耕を開始した弥生人が何故海の生活をしていたのかについて
 弥生人の一つ時代の先輩である縄文人の目から迫る。

【4】奈良時代 : 海老名～大磯

・相模国分僧寺、国分尼寺。仏教の安泰をはかるために、政府は国ごとに
 国分僧寺と尼寺を建てさせたという。中央政府の思惑とその役割について
 聖武天皇(第45代天皇 平成天皇は第125代天皇)の目から迫る。

【5】鎌倉時代 : 鎌倉

・日本で初めての武家政治と人間源頼朝を妻北条政子の目から迫る。夫婦の愛と
 葛藤が繰り広げられる。

【6】室町時代 : 小田原

・政治の中心が京都に移り関東には権力の空白が生まれた。その中で戦国時代
 に関東の一円支配をめざしたのが北条氏である。近接する甲斐の国の国主
 武田信玄の目から迫る。

【7】江戸時代 : 箱根

・江戸時代、東海道五十三次が整備された。その宿場町と関所を訪ね、江戸文化
 について水戸黄門の目で迫る。

【8】江戸時代 : 浦賀

・嘉永6年(1853)西洋文明の象徴である蒸気船を率いて浦賀にペリー出現。
 その頃の日本国をペリーはどう見たかに迫る。

【9】明治時代 : 横浜

・開港、明治維新、明治時代への変貌の激動を“赤い靴を履いていた女の子”の目
 で探る昭和時代 : 横須賀

・何故、現在ここ横須賀に米軍横須賀基地があるのか、東京裁判の敗戦国の立場
 からなのか、東京裁判のブレイクニー弁護人の目から迫る

【10】昭和時代 : 川崎

・何故、終戦まもなく日本人は復活し、世界有数の京浜工業地帯を作り上げる
 ことができたのか、故田中角栄元総理大臣も目から迫る。

【11】平成時代～未来へ : 横浜～川崎

・横浜を中心にどう未来に向かっていくのか、折乃笠が迫る。

5. ラーメン博物館 調査

1) 博物館紹介

新横浜駅からすぐであり、入口はきわめて平凡。
全国各地のラーメン銘店9店舗を中心に、ミュージアム
ショップや駄菓子屋、喫茶店・スナックなどを併設している。

地下には、昭和33年(1958年)の街並が広がっており、
ここにほとんどのラーメン銘店がある。

昭和33年は、東京タワーの完成や一万円札の初登場、
そして世界初のインスタントラーメンが発売された年だそうだ。
映画“3丁目の夕日”の時代で、人情にあふれ、未来への希望
と活気に満ちた時代だった。

小生、地下に入った瞬間、幼年期時代の葛飾や浅草を思い出してしまい、
感動でしばらく動けなくなってしまった。



ラーメン博物館 入口



昭和33年の街並

2) ラーメン調査

気仙沼 かもめ食堂の調査実施。

スープは鶏ガラをベースに鯛干し、昆布など、さらに気仙沼
特産サンマの香油を加えた海を感じさせる塩ラーメンだ。
半熟煮玉子も絶妙。小生大盛り(家内は普通)もあつと言う
間に完食。美味かった～。さすがに別の店でもう一杯は無理。



3) 感じた事

- ①昭和30年代は本当の日本人らしさ(勤勉、協力、親切)が街並みに輝いていた。
- ②ラーメンは寿司、天ぷらと並び奥が深く、三大日本食の一つだ

6. すばらしい名書(歴史本)との出会い

神奈川県立歴史博物館ですばらしい名書と出会った。

“詳説 日本史図録(第6版 山川出版社)” ¥860

たぶん、高校の日本史の教科書だと思う。

コストパフォーマンスが0に近い。

内容は、1. 目次 ~ 12. 旧石器時代人の生活 ~
315. 高度成長期以後の生活・文化 ~ 320. 天皇系図 ~
321. 歴代内閣一覧へと続く。

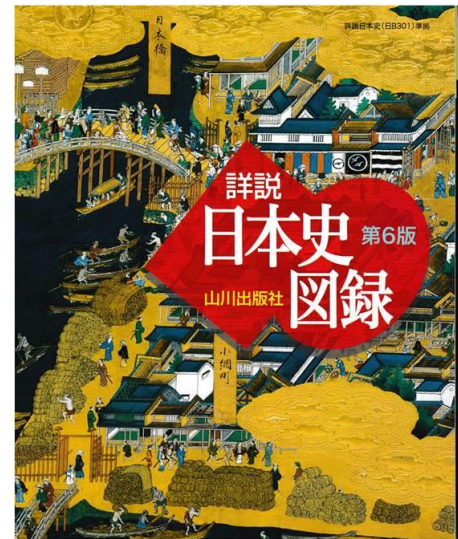
各ページは、全て図解でデータが豊富、とてもわかりやすく
丁寧に作られている。

会社の資料作りの参考にもなる。

1時間あれば、日本の旧石器時代~現代までの歴史の大きな
流れとそれぞれの時代の概要を知ることができる。

一方、熟読すると、1ページ最低30分は要する。

今回、この歴史書との出会いは、今回の“神奈川の歴史を訪ねる徒歩の旅”の
計画段階~まとめ段階に有効であるだけでなく、今後の小生の人生指針に非常に
重要な書物になりうる。



—以上—

